

マダニについて

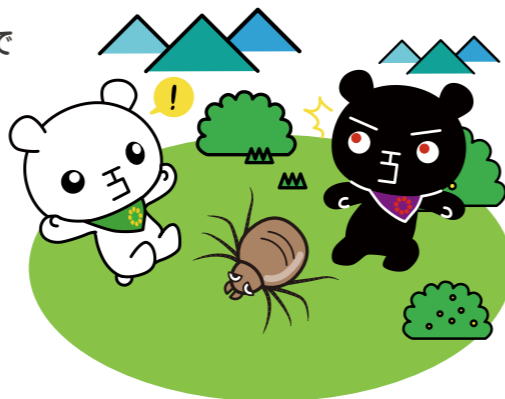
マダニ(吸血性のダニ)は、家庭内に生息するダニと種類が異なり、山や草むらに生息しています。重症熱性血小板減少症候群(SFTS)などの感染症はウイルスを保有しているマダニに咬まれると感染するため注意しましょう。

特徴・経路

- 人や動物に寄生して吸血する
- 吸血する前後で大きさが異なる



- おおむね7日間ほどで飽血(満腹状態)すると自ら離れる
- 山や草むらに生息しているが、野鳥などに運ばれて市街地で発生することもある
- 3月頃から被害が始め、10~11月頃まで活動する



症状

マダニの唾液には麻酔様物質が含まれており、咬まれた直後は気が付かないことが多く、2~3日するとかゆみ、灼熱感、軽度の痛みを感じる



どうしたらいいの?

咬まれないために

- 野外活動の際はマダニ類に寄生されないよう肌を露出しない服装(長袖、長ズボン)にする
- 帰宅後に体をチェックしてマダニの有無を調べる
- 犬などのペットを野山に連れて行った後はマダニがついてないか確認する



咬まれたら

- 絶対につぶさない
- 吸血中のマダニを無理に引き抜こうとせず皮膚科などの医療機関で適切な処置(マダニの除去、洗浄)を受ける



重症熱性血小板減少症候群(SFTS)って知ってますか?

ウイルスを保有しているマダニに咬まれると感染します。6日~2週間後に発熱、倦怠感、消化器症状(食欲低下、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛)などが現れ、重症の場合は死に至ることもあります。ワクチンや治療法はまだ確立されていません。マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意し、下記の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けましょう。

SFTSの症状

